

# 2022年度事業報告書

2022年4月1日より2023年3月31日まで

公益財団法人 窓研究所

はじめに

窓研究所は、2018年7月に一般財団法人として設立後、「窓は文明であり、文化である」の思想のもと、窓や建築に関する多角的な知見の収集・発信、また研究や文化事業の助成・開催等さまざまな社会活動をおこなってまいりました。

2021年2月に認定を受け公益財団法人となったことを踏まえ、今年度は、公募助成や普及啓発などの事業を実行する中で、特に公益に資する活動を、これまで以上に充実を図って参りました。

## I. 事業

### (1) 助成活動（研究助成・出版助成・文化活動助成）

建築文化の発展への貢献を目的とし、新規性、独創性が高く学術的、社会的に広がりのある研究・活動に対する助成を行いました。選考方法は公募とし、当財団選考委員会により選考を行いました。今年度は、研究助成7件、特定研究1件、出版助成4件、文化活動助成3件、研究者派遣プログラム3件を採択し助成を行いました。

### (2) 普及啓発活動

#### ① 企画展等の開催

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展および知識啓蒙を目的として、企画展等を開催する。企画展等は不特定多数に向けたものとし、必要に応じ、展覧会期間中にワークショップや講演会等を開催するとともに、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、より広範な深い文化発信を行う。今年度は、9月より展覧会『WINDOWOLOGY』展を窓の博物館であるVillum Window Collection（コペンハーゲン）の特設会場にて開催しております。

#### (a). コペンハーゲンでの展覧会と関連イベントの開催

開催場所：Villum Window Collection

展覧会名：“Windowology（窓学：窓は文明であり、文化である）”

会期：2022年9月18日～2023年8月15日

主催：Villum Window Collection

企画：窓研究所

## ② 講演会等の開催

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展および知識啓蒙を目的として、講演会、シンポジウム、トークイベント、研究報告会等を開催する。企画展は不特定多数に向けたものとし、必要に応じ、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、より広範な深い発信を行う。今年度は、助成研究と自主調査を合わせた研究報告会にて開催いたしました。

タイトル：「WRI session Research Report 2022」

開催日：2022年4月23日

開催場所：三岸アトリエ

開催方法：オンライン配信、事前申込制

内容：第一部 2019年度研究助成成果報告

第二部 2021年度研究課題「疫病と窓」成果報告

## ③ 調査研究・資料収集

学術および芸術分野での調査研究・価値のある制作物の収集を行う。

今年度は、研究テーマ2件が進行中です。

- ・基礎データ収集は協働する研究室が決まり調査計画中
- ・窓事例の収集は調査方法を検討し1物件の調査完了

## ④ 普及啓発

建築文化の振興を目的として、それに関する知見を、適切な手法を用いて国内外に向けて広く普及啓発を行う。今年度は、以下の手段を用いて発信を行った。

- WEBサイト、SNS等電磁的方法による情報発信
  - ・WEBサイトでの定期的な記事の制作と更新を行った。新規記事27タイトルを提供
- 出版物、広報誌、印刷物の企画・発行(電子書籍含む)
  - ・窓学関連の書籍出版のための準備(2冊)
- 他団体の展覧会、出版、文化活動等に対する協賛
  - ・今年度の協賛なし。
- その他普及啓発に必要な広報活動

## ⑤ 基盤整備

- ・窓のデータベース・アーカイブ
  - 用語集は、追加用語58語の解説作成済(4月更新予定)
  - 窓の歴史は、年表実装のためのシステム改修(6月更新予定)
  - 窓学レポートの追加収録は今年度は見送り

## II. 管理活動

### 1 理事会に関する事項

- 2022年 5月18日 第17回 理事会の実施
- 2022年 6月21日 第18回 理事会の実施
- 2022年10月19日 第19回 理事会の実施
- 2023年 3月15日 第20回 理事会の実施

### 2 評議員会に関する事項

- 2022年 6月21日 第7回 評議員会の実施

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2023年6月30日

公益財団法人窓研究所財務諸表に対する注記

## 貸借対照表

2023年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
預金			
普通預金	11,493,851	20,254,760	△ 8,760,909
当座預金	5,639,012	5,723,644	△ 84,632
貯蔵品	18,421	23,981	△ 5,560
流動資産合計	17,151,284	26,002,385	△ 8,851,101
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金			
普通預金	40,653,137	39,276,562	1,376,575
当座預金	843,576,944	339,426,937	504,150,007
特定金銭信託	4,653,763,533	5,164,934,695	△ 511,171,162
基本財産合計	5,537,993,614	5,543,638,194	△ 5,644,580
(2) 特定資産			
公益目的引当資産（当座預金）	0	3,988,713	△ 3,988,713
什器備品	11,549,678	16,542,450	△ 4,992,772
ソフトウェア	11,808,217	15,241,457	△ 3,433,240
建物	3,511,389	3,846,307	△ 334,918
特定資産合計	26,869,284	39,618,927	△ 12,749,643
(3) その他固定資産			
什器備品	894,139	1,240,082	△ 345,943
ソフトウェア	0	370,141	△ 370,141
保証金	3,010,000	3,010,000	0
その他の固定資産合計	3,904,139	4,620,223	△ 716,084
固定資産合計	5,568,767,037	5,587,877,344	△ 19,110,307
資産合計	5,585,918,321	5,613,879,729	△ 27,961,408
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	16,939,928	25,546,560	△ 8,606,632
預り金	211,356	455,825	△ 244,469
流動負債合計	17,151,284	26,002,385	△ 8,851,101
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,151,284	26,002,385	△ 8,851,101
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,564,862,898	5,583,257,121	△ 18,394,223
指定正味財産合計	5,564,862,898	5,583,257,121	△ 18,394,223
（うち基本財産への充当額）	( 5,537,993,614)	( 5,543,638,194)	( △5,644,580)
（うち特定資産への充当額）	( 26,869,284)	( 39,618,927)	( △12,749,643)
2. 一般正味財産	3,904,139	4,620,223	△ 716,084
（うち基本財産への充当額）	( 0)	( 0)	( 0)
（うち特定資産への充当額）	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	5,568,767,037	5,587,877,344	△ 19,110,307
負債及び正味財産合計	5,585,918,321	5,613,879,729	△ 27,961,408

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金振替額	162,662,815	165,498,253	△ 2,835,438
経常収益計	162,662,815	165,498,253	△ 2,835,438
(2) 経常費用			
①. 事業費	128,333,532	123,951,658	4,381,874
②. 管理費	35,543,818	43,022,526	△ 7,478,708
経常費用計	163,877,350	166,974,184	△ 3,096,834
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,214,535	△ 1,475,931	261,396
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,214,535	△ 1,475,931	261,396
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収入	498,451	0	498,451
経常外収益計	498,451	0	498,451
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	498,451	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 716,084	△ 1,475,931	759,847
一般正味財産期首残高	4,620,223	6,096,154	△ 1,475,931
一般正味財産期末残高	3,904,139	4,620,223	△ 716,084
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	500,000,000	500,000,000	0
基本財産運用益			
基本財産運用益	75,458,272	234,082,669	△ 158,624,397
受取利息	20,597	379	20,218
基本財産評価損益等	△ 431,210,277	△ 273,351,580	△ 157,858,697
一般正味財産への振替額	△ 162,662,815	△ 165,498,253	2,835,438
当期指定正味財産増減額	△ 18,394,223	295,233,215	△ 313,627,438
指定正味財産期首残高	5,583,257,121	5,288,023,906	295,233,215
指定正味財産期末残高	5,564,862,898	5,583,257,121	△ 18,394,223
III 正味財産期末残高	5,568,767,037	5,587,877,344	△ 19,110,307

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

該当事項はありません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

…決算時の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

市場価格のない株式等

…個別法による原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及びソフトウェアについては、定額法を採用しております。

#### (3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

### 3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

5. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(1) 基本財産				
預金				
普通預金	39,276,562	130,000,000	128,623,425	40,653,137
当座預金	339,426,937	637,308,944	133,158,937	843,576,944
特定金銭信託	5,164,934,695	42,324,750	553,495,912	4,653,763,533
小計	5,543,638,194	809,633,694	815,278,274	5,537,993,614
(2) 特定資産				
公益目的引当資産	3,988,713	0	3,988,713	0
什器備品	16,542,450	523,050	5,515,822	11,549,678
ソフトウェア	15,241,457	0	3,433,240	11,808,217
建物	3,846,307	0	334,918	3,511,389
小計	39,618,927	523,050	13,272,693	26,869,284
合計	5,583,257,121	810,156,744	828,550,967	5,564,862,898

(注) 当期増加額及び当期減少額は、基本財産内部及び特定資産内部の増減を除いております。

6. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)
(1) 基本財産			
預金			
普通預金	40,653,137	40,653,137	0
当座預金	843,576,944	843,576,944	0
特定金銭信託	4,653,763,533	4,653,763,533	0
小計	5,537,993,614	5,537,993,614	0
(2) 特定資産			
什器備品	11,549,678	11,549,678	0
ソフトウェア	11,808,217	11,808,217	0
建物	3,511,389	3,511,389	0
小計	26,869,284	26,869,284	0
合計	5,564,862,898	5,564,862,898	0

7. 固定資産の取得価格、減価償却費及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
(2) 特定資産			
什器備品	31,841,350	20,291,672	11,549,678
ソフトウェア	17,166,200	5,357,983	11,808,217
建物	5,631,526	2,120,137	3,511,389
小計	54,639,076	27,769,792	26,869,284
(3) その他固定資産			
什器備品	4,535,298	3,641,159	894,139
ソフトウェア	3,326,669	3,326,669	0
小計	7,861,967	6,967,828	894,139
合計	62,501,043	34,737,620	27,763,423

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
指定寄付金の使用による振替額	162,662,815
合計	162,662,815

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、内容の記載を省略しております。

財産目録  
2023年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金	公益目的事業の運転資金として	10,149,303	
		普通預金	管理活動の運転資金として	1,344,548	
		当座預金	公益目的事業の運転資金として	2,819,972	
		当座預金	管理活動の運転資金として	2,819,040	
	貯蔵品	手元保管(切手等)	管理活動に供する貯蔵品	18,421	
流動資産合計				17,151,284	
(固定資産)	基本財産	預金	普通預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	17,749,462
			普通預金	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	22,903,675
		当座預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	221,360,093	
		当座預金	管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	622,216,851	
	特定資産	特定金銭信託	債券 投資信託	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	2,326,881,763
			債券 投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	2,326,881,770
		什器備品	フィルム、展示品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	6,281,090
		什器備品	壁面収納、テーブル、複合機	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	5,268,588
		ソフトウェア	ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	11,808,217
	その他固定資産	建物付属設備	千代田区神田和泉町1-1 照明工事、電気工事、床工事	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	3,511,389
		什器備品	絵画、像、フィルム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	791,935
		什器備品	カメラ、ビデオカメラ、プロジェクター、チェア	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	102,204
		保証金	日本商事仲裁協会	公益目的保有財産であり、カルネ申請に伴う担保金	3,010,000
固定資産合計				5,568,767,037	
資産合計				5,585,918,321	
(流動負債)	未払金	委託費、給料等に対する未払金等	公益目的事業、法人管理活動に供する備品購入等の未払い分	16,939,928	
	預り金	源泉税預り金	公益目的事業、法人管理活動に供する預り金	211,356	
流動負債合計				17,151,284	
固定負債合計				0	
負債合計				17,151,284	
正味財産				5,568,767,037	